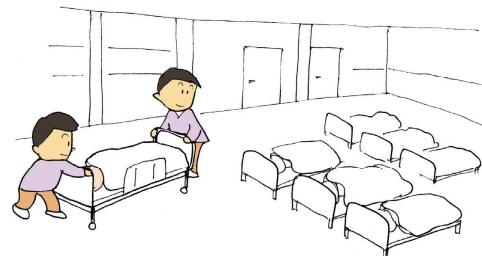
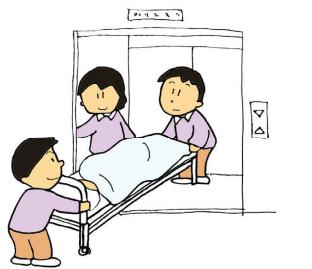


第3部

避難訓練の企画・実施方法

避難計画をもとに訓練して計画の検証・見直しを



避難訓練を行う主な目的

- 施設利用者と職員のいのちを守る。
- 作成した避難計画を検証する。
→ 必要に応じて見直しをする。
- 避難時の行動を理解する。
- 施設職員の防災意識を高める。

避難訓練の実施は『義務』です！

避難確保計画の作成が義務づけられている施設では、
避難訓練の実施も義務づけられています。

また、避難訓練を実施した場合、**訓練終了後の概ね1ヶ月以内を目安に訓練結果を市町に報告する必要があります。**

- 避難訓練は、全職員が最低年1回は実施しましょう。
- できれば、大雨・台風シーズン前に避難計画を確認し、訓練を実施するといいでしょう。

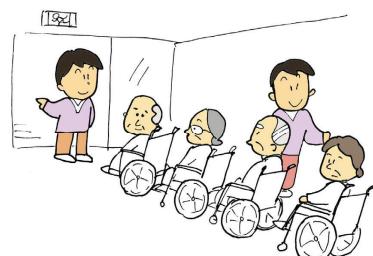
3

避難訓練の企画方法

■ 訓練の種類

● 実働訓練

- 総合訓練
- 個別訓練
- 防災資機材等の取扱訓練

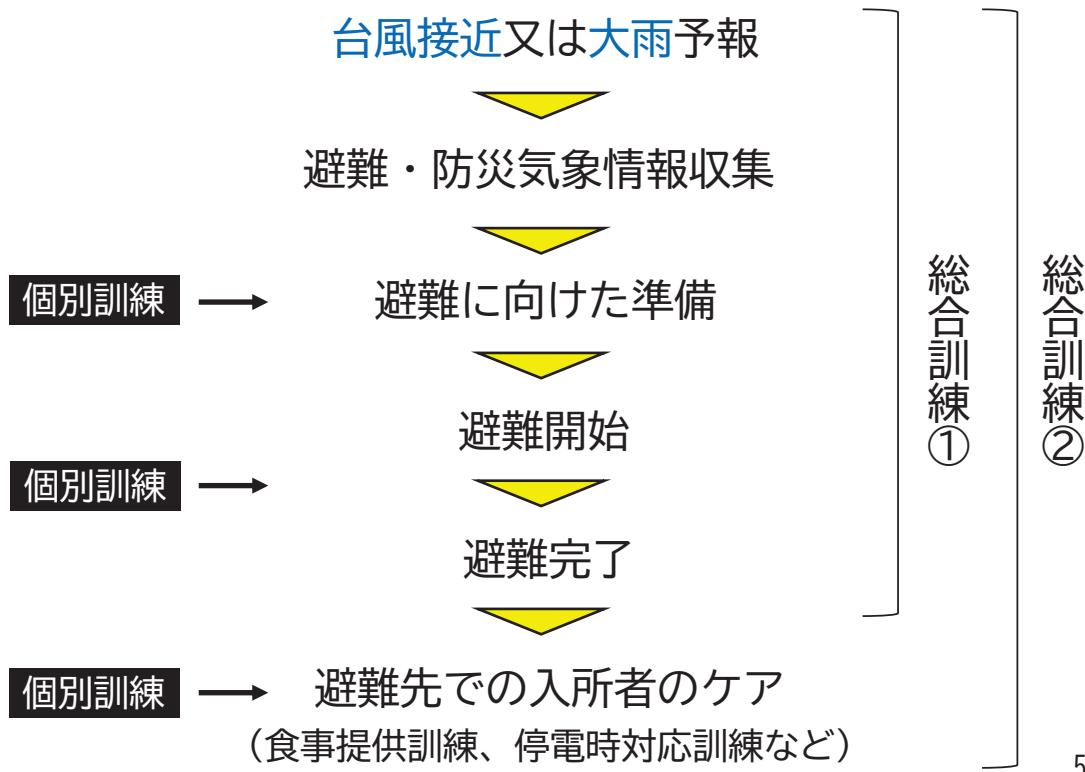


● 図上訓練

4

避難訓練の企画方法

避難行動フロー図



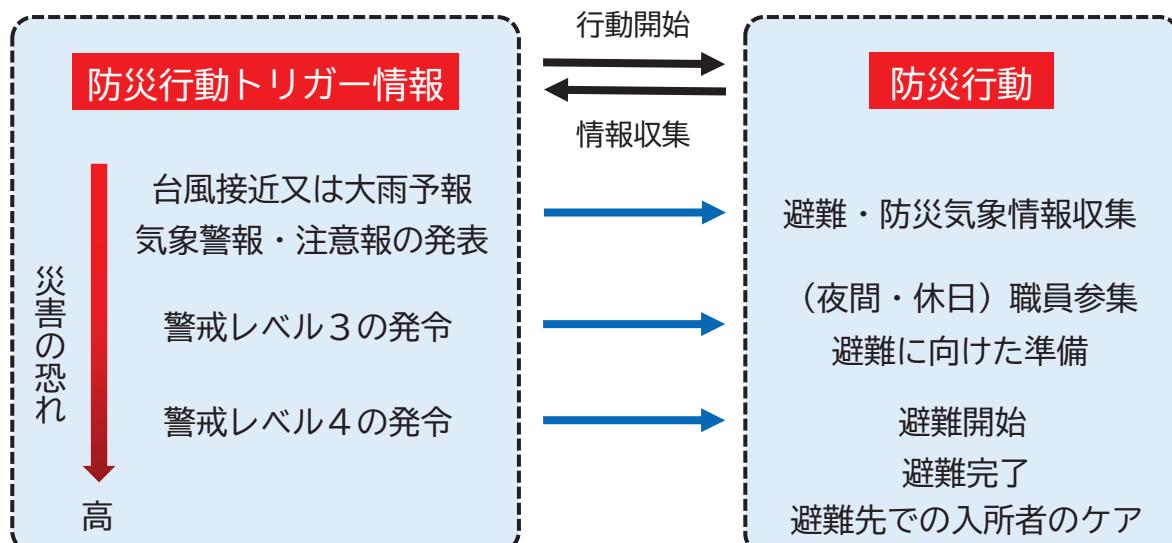
5

避難訓練の企画方法

総合訓練は、避難タイムラインに沿って行うといいでしよう

水害・土砂災害からの避難行動（例）

雨が降り始め、徐々に災害の危険性が高まっていきます



6

避難訓練の企画方法

避難訓練プログラム（例）

立退き避難をする場合

- 訓練の事前説明
- 情報収集訓練
- 職員参集訓練
- 避難の準備
- 避難先に避難開始
- 避難先に避難完了
- 食事提供訓練
- 施設に戻る
- 訓練の振り返り

屋内安全確保をする場合

- 訓練の事前説明
- 情報収集訓練
- 職員参集訓練
- 避難の準備
- 水平避難又は垂直避難
- 避難スペースに避難完了
- 居室に戻る
- 食事提供訓練
- 訓練の振り返り

7

避難訓練の企画方法

避難訓練のポイント

- 施設職員が避難の流れを理解し、適切な避難行動がとれるようにすることです。移動が困難な利用者を無理に参加させる必要はありません。その場合は、職員が利用者役として訓練に参加といいでしよう。
- 施設職員が利用者役として参加することで、利用者の視点での避難の問題点を考えることができます。
- 訓練はうまくやることでが目的ではなく、問題点や課題などを見つけるための訓練です。難しく考えずに、とにかく動いてみることが大切です。

8

他の施設の避難訓練も参考にしよう

参考資料

令和3年度さが「福祉施設のいのちを守る」災害対応力向上事業
ケースブック
水害・土砂災害からいのちを守る避難タイムライン
(専門家個別支援取組事例集)



令和4年2月
佐賀県福祉課
佐賀県

令和4年度さが「福祉施設のいのちを守る」災害対応力向上事業
ケースブック
水害・土砂災害からいのちを守る避難タイムライン
(専門家個別支援取組事例集)



令和5年3月
佐賀県社会福祉課
佐賀県

② 避難の準備

避難先に運ぶ備蓄物資等の準備
パソコン・貴重品等の準備

③ 避難開始

避難計画の順に入所者を乗車させて避難開始

④ 避難先に到着

避難者の点呼
避難スペースに到着

【令和3年度】 <http://www.sbk.or.jp/sagafhtl/files/casebook2021.pdf>

【令和4年度】 <http://www.sbk.or.jp/sagafhtl/files/casebook2022.pdf>

9

避難訓練の実施方法

防災行動のトリガー情報を記載した「状況付与票」を付与しながら訓練を進めていくのも一つの方法です。

訓練進行役

※状況付与票ではなく、口頭で伝達するのも可
(口頭で伝達するのが難しい内容は状況付与票で)

状況付与 No.3

佐賀市に大雨警報、洪水注意報発表

発表日時：令和3年8月11日（水） 13:05

（本文）
佐賀市に大雨警報、洪水注意報を発表しました。

訓練

暴雨警報・氾濫警報情報
佐賀市 河川 洪水予報 第2号
令和3年8月14日08時00分

（提出）
【警戒レベル3相当情報（洪水）】
暴雨警報は、今後、氾濫危険水位に到達する見込みです。

（想定）
「警戒レベル3相当」これは、暴雨警報を超過する水位のことを指す。暴雨警報（警戒）とは、14時00分に、「氾濫警報（警戒）」と呼ばれる水位を超過する水位となる見込みを述べ4時間になると判断されるものです。暴雨警報では氾濫警報よりも低い水位を超過する見込みがあることを示すもので、暴雨警報（警戒）は、河川の避難勧告時に十分留意することに、周辺の防災行動をとらせてください。

多いごとに1時間ごとに複数回であります。
この場合は2つの時間が並んでいます。

流域	13日08時40分～14日08時40分	14日05時40分～14日08時40分
佐賀市内	468ミリ	100ミリ

（水位）
佐賀市の水位観測における水位は次の通りと見込まれます。

観測点名	水位(m)又は流量(m³/s)	警戒水位(m)又は警戒流量(m³/s)	警戒水位(m)又は警戒流量(m³/s)	警戒水位(m)又は警戒流量(m³/s)
上流	14.00時40分30分 5.40	14.00時40分30分 5.50	14.00時40分30分 5.60	14.00時40分30分 5.70
本流	14.00時40分30分 5.45	14.00時40分30分 5.55	14.00時40分30分 5.65	14.00時40分30分 5.75
下流	14.11時40分30分 5.50	14.11時40分30分 5.60	14.11時40分30分 5.70	14.11時40分30分 5.80

（注意事項）

手渡し

訓練参加者

情報を確認して「なにをすべきか？」を避難タイムラインで確認して、防災行動をとります。

状況付与票

10

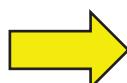
避難訓練の実施方法

① 避難・防災気象情報の収集

実働訓練の実施例

状況付与

前線が停滞する影響で
記録的な大雨の恐れ



対策会議の開催（今後の対応を協議）

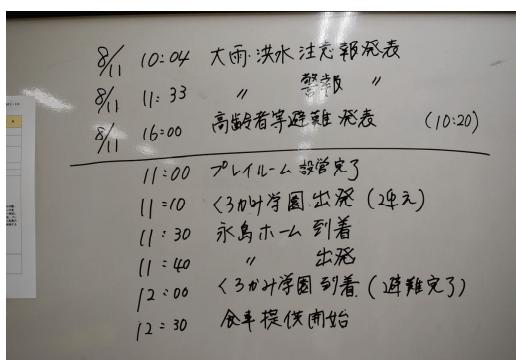
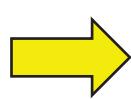
11

避難訓練の実施方法

① 避難・防災気象情報の収集

状況付与

××市に大雨警報
・洪水警報発表



ホワイトボードに記入（情報共有）



避難タイムラインで防災行動を確認

12

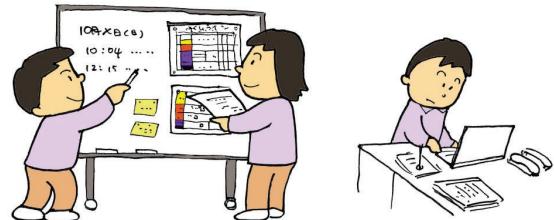
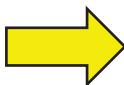
避難訓練の実施方法

②（夜間・休日の想定の場合）職員参集

※参集は仮想で、訓練時は施設にいて参集してきたものとして訓練を行うことも可。

××市〇〇地区に
高齢者等避難
(警戒レベル3) 発令

状況付与



職員への参集連絡

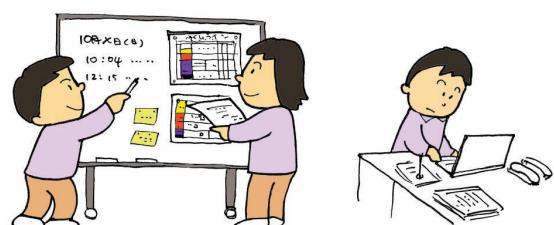
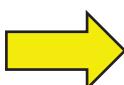
13

避難訓練の実施方法

③ 対策会議の開催（避難準備と避難開始の決定）

××川
氾濫警戒情報発表

状況付与



対策会議の開催（避難に向けた対応協議）

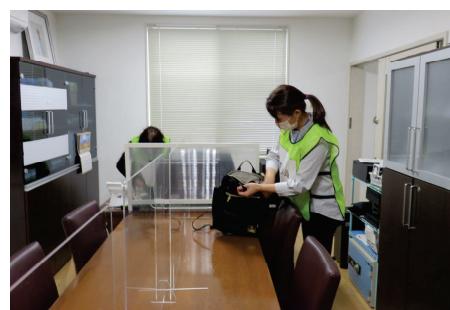
14

避難訓練の実施方法

④ 避難先への職員派遣・受入準備



⑤ 避難先への物資搬送準備



15

避難訓練の実施方法

⑥ 避難先への避難開始



16

避難訓練の実施方法

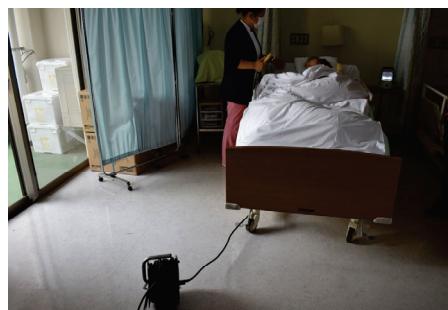
⑦ 食事提供訓練（非常食の試食）



17

避難訓練の実施方法

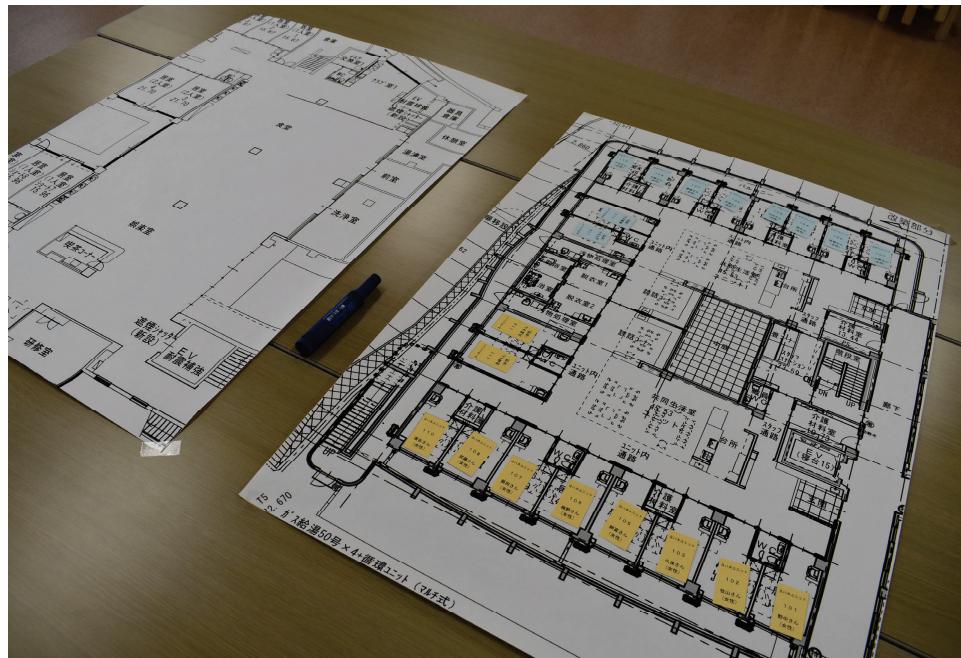
⑧ 停電時対応訓練



18

避難訓練の実施方法

図上訓練の実施例



19

避難訓練の実施方法

図上訓練イメージ

入所者カード



職員カード



避難車両カード



事務



看護師



20

図上訓練イメージ①参集職員

参集基準：警戒レベル3高齢者等避難発令			
参集職員	夜勤職員		
施設長  多久さん	事務  小城さん	看護師  鳥栖さん	介護士  武雄さん



〇〇市××地区に河川氾濫の危険が高まったとして
避難指示（警戒レベル4）発令

立退き避難（施設外避難）開始を指示

21

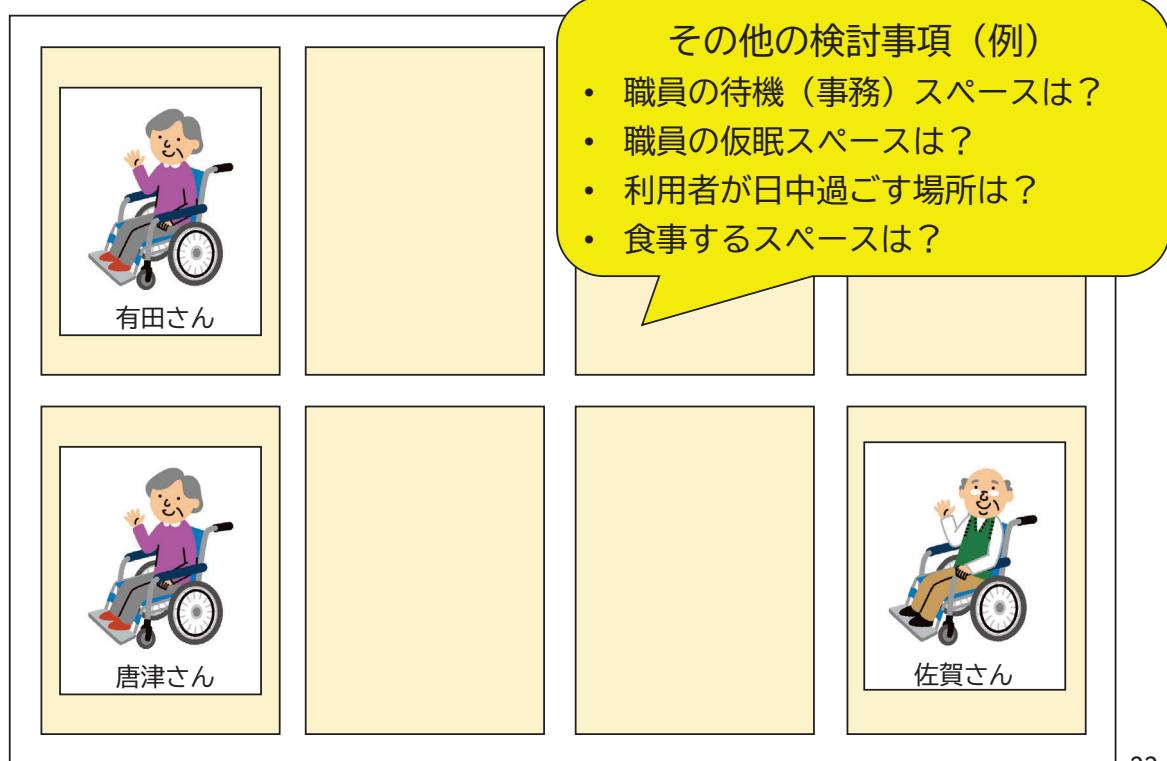
図上訓練イメージ②避難行動

移動車両	運転手 同乗車	1回目	2回目	3回目
 1号車	事務  小城さん	 唐津さん	 佐賀さん	
				避難に要する時間 1往復：約20分

避難先	施設内
介護士  武雄さん	施設長  多久さん

22

図上訓練イメージ③ 避難先滞在スペースの配置



23

避難訓練の主な検証ポイント（例）

検証項目	検証のポイント
避難開始	避難開始のタイミングは適切か？
職員参集	職員が参集するタイミングは適切か？ 避難に必要な人員を確保できているか？ (参集する職員の数は足りているか？)
移動手段	避難に必要な車両など、移動手段は確保できているか？
雨天対策	雨天時の対策は考えているか？(車の乗降場所、動線など)
役割分担	避難時の職員の役割分担は適切か？
避難グッズ	入所者の常用薬や眼鏡、歯磨きセット、着替えなどの生活必需品を持参しているか？
避難スペース	数日間滞在する場所として適した避難スペースか？ 適切な広さは確保できているか？(1人最低4m ² 以上) 就寝用のベッドやマットなどはあるか？ プライバシーを確保できるか？(排泄時など) 冷暖房設備はあるか？
	食事スペースなど生活に必要なスペースは確保できるか？
	職員の業務スペースや休息場所は確保できるか？

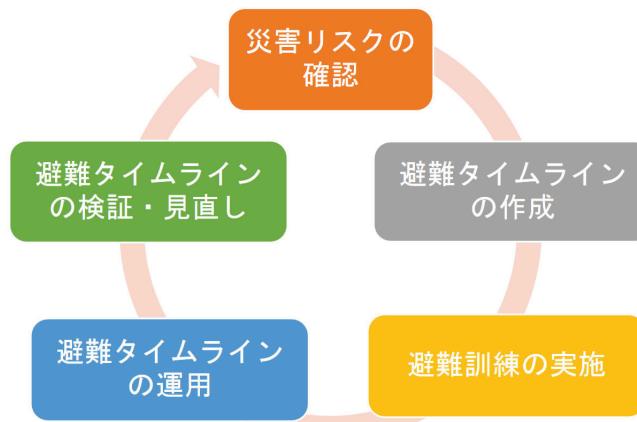
24

最後に

避難計画に完成はありません！

作成した時点では最適な避難計画かもしませんが…

常によりよい避難方法を考え、計画の見直しを



風水害による犠牲者ゼロの実現に向けて “継続的” に取り組んでいきましょう 25